

静岡市立長田東小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成30年5月10日(木)

発掘調査のお話



5月10日(木)、静岡市立長田東小学校を訪問し、「土器の分類」「石器(黒曜石)の試し切り」「火起こし」の古代の人々の生活体験と「発掘調査について」の授業を行いました。特に本物を手に取り触れた体験では興味津々、みんな目を輝かせて真剣に取り組んでいました。この授業を通して昔の人々の暮らしの一端に触れ、古代の人々の生活や歴史に興味関心をもち今後の学習に生かされることを期待しています。



土器分類体験

縄文土器、弥生土器、須恵器(すえき)の3つの時代の本物の土器片を直接手に取り、当時の人々の温もりや思いを感じながら、肌触りなどを観察し、それぞれの時代の土器の特徴や違いを見つけて分別する土器分類に挑戦しました。

石器(黒曜石)試し切り体験

黒曜石の石器を使って、紙や野菜を切る体験をしました。思った以上にとってもよく切れることに驚いていました。

また、昔の人々は鋭く尖る石(自然のガラス黒曜石)を探し、長野県や伊豆諸島まで出かけて行き手に入れたことを知って、さらに驚きました。

火起こし体験



実際に挑戦してみると、なかなか火種ができません。火種ができて、燃える炎にするには、またひと苦労でした。火を手に入れるのに、こんなに苦労するとは思っていませんでした。しかし、みんなで協力し、コツを覚えると、次々と火を起すことができました。煙が目にしみてつらかったけれど、昔の人々の工夫もいろいろと感ずることができました。